

第6学年家庭科「目指そう 冬のほっとエコライフ」

学習指導者 山本 千穂

冬の生活の問題を見だし、「快適で環境にもよい、ほっとエコライフを目指そう」という題材のゴールを設定して学習を進めてきました。本時では、冬の服の長所や短所などの特徴を「空気の含有量」「風通し」「動きやすさ」の観点でまとめたカードを使って、生活場面に合わせて既習の様々な着方を選んで、諦めずに試行錯誤する方法を身に付けさせました。

場面に合わせた着方を考えよう

【見通し】

前時に調べた様々な冬服の特徴を振り返り、「短所をカバーし合うために全ての服を組み合わせればよいのではなか」という考えから、上着を四つ重ね着した例を見ることで、場面に合わせた着方を考える必要があることに気づき、本時の課題を設定しました。



【行動】

見通し場面での「全ての上着を着ると動きにくい」という声から、公園に遊びに行くときにはどのような服装がよいか、前時までに作っていた「冬のアイテムカード」を操作しながら考えました。それぞれの服の特徴や既習の暖かい着方の知識から、「長袖シャツとセーターを重ね着をするとよい」「外なので風を通さない上着がよい」「マフラーとネックウォーマーだとどちらがよいか」などをグループの友達と伝え合う姿が見られました。また、その後はスポーツの応援や犬の散歩など自分の考えたい場面を選び、公園の例と同様に、自分の持っている服ならどう組み合わせられそうかをカードを操作して考えていました。



【振り返り】

ふ
振り返り分かったこと
①自分の服装
②感想、次は…
今日分かったことは、場面の特徴を調べることが大切だと分かりました。その理由は、班のみんなと話し合うことができたからです。家のようにあったかい場面でもなるべく高い温度で過ごすのではなく、自分の重ね着を工夫してSGDsにも協力したいです。

三つの観点(分かったこと、理由、次へ)を基に、分かったことやその理由、次にしたいことを振り返りました。「友達と話し合ってたから、場面の特徴に合わせて組み合わせることが分かった。家の中でも重ね着を工夫したい」「これからは目的まで考えて決めたい」など、生活の中でも試していこうという意欲を高めました。

成果と課題

○観点を三つに整理した「冬のアイテムカード」を用いて、既習の着方を選んで組み合わせることで、お互いの意見の違いに目を向けて話し合うことができた。

▲活動を精選し、自分の生活での着方を考える時間をもっと取るべきであった。習得させたい諦めずに試行錯誤する方法をより意識させるために、子供に伝わる言葉でモニタに提示したり板書したりして、視覚的に提示する必要があった。